

令和4年度 指定管理者総合モニタリング評価表

施設名称	塩尻市地場産業振興センター		
所在地	塩尻市大字木曾平沢2272番地7		
指定管理者名	一般財団法人 塩尻・木曾地域地場産業振興センター		
指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日（5年間のうち4年目）		
募集方法	非公募	施設担当課	産業振興事業部 産業政策課

1 業務実績（指定管理者）

当初計画	実績
<p>【地場産業の振興に関する事業】</p> <p>1 地場産品の振興に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンス展示販売契約者数 30件 <p>2 地場産品の普及および販路・需要の開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験学習受入件数 90件 ・利用者数（レジ通過客数） 44,000人 	<p>【地場産業の振興に関する事業】</p> <p>1 地場産品の振興に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売ブースを各店舗ごとにレイアウトを変更し、当センターでの販売及び産地への誘導を図った。 <p>2 地場産品の普及および販路・需要の開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験学習受入件数 60件 ・利用者数（レジ通過客数） 51,929人
<p>【施設維持管理】</p> <p>1 建物保守管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構築物各部位の点検・保守 (屋根・外壁・建具・天井・内壁・床、階段等) <p>2 建物設備保守管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備運転及び監視 ・法定点検 年1回 ・消防設備点検 年2回 ・電気設備点検 年6回 ・地下タンク設備点検 年1回 (機械設備、空調設備等は必要に応じて実施) <p>3 備品等保守管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品台帳の確認・整備 <p>4 清掃業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間清掃日数 348日 ・外構整備（草刈り等） <p>5 修繕業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修繕個所の確認及び修繕実施 	<p>【施設維持管理】</p> <p>1 建物保守管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構築物各部位の点検・保守 随時実施 <p>2 建物設備保守管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備運転及び監視 設備運転ごと実施 ・法定点検 年1回 ・消防設備点検 年2回 ・電気設備点検 年6回 ・地下タンク設備点検 年1回 (機械設備、空調設備等は必要に応じて実施した) <p>3 備品等保守管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品台帳の確認・整備 随時実施 <p>4 清掃業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間清掃日数 351日 ・外構整備（草刈り等） 適時実施 <p>5 修繕業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防設備、非常用発電機等修繕 7件 ・修繕個所の確認及び修繕実施 随時実施

<p>6 警備業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間警備日数（民間警備委託） 365日 <p>7 駐車場管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の安全確保・維持管理 <p>8 除雪業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地内除雪業務 	<p>6 警備業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間警備日数（民間警備委託） 365日 <p>7 駐車場管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の安全確保・維持管理 随時実施 ・お盆期間中等民間警備委託 16日 <p>8 除雪業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地内除雪業務 積雪時実施
---	---

2 施設の利用状況(指定管理者)

利用区分等	利用目標	今年度実績 (ア)	前年度実績 (イ)	対前年 (ア) / (イ)
開館日数	342日	343日	262日	130.9%
施設利用者数（木曾くらしの工芸館）	44,000人	51,929人	40,232人	129.1%
体験者数	2,000人	1,282人	1,609人	79.7%
オンラインショッピング売上	1,000,000円	490,723円	808,635円	60.7%
貸館利用日数	40日	15日	19日	78.9%

3 利用目標の達成状況に対する評価・分析（指定管理者、施設担当課）

指定管理者の 評価・分析	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防対策を行いつつ、（一社）長野県観光機構指導の下、経営改善に取り組みながら、利用者の増加及び収益の改善に努めた。 ・令和3年度に行った内装の改修工事により、作り手がみえるレイアウトとしたことで売上の増加につながり、かつ各店舗の塗りなどの技術を分かりやすくし、店舗への誘導等、産地を紹介できる店舗づくりを行った。 ・ホームページ、SNS等の情報発信の更新頻度を高めたことにより、来館客数の増加に努めた。
施設担当課の 評価・分析	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度末のリニューアルオープン効果やコロナ禍の緩和傾向、（一社）長野県観光機構による経営改善マネジメント伴走支援により、観光客以外に地元利用増加にも取り組み、大幅な利用者数の増加を達成した。 ・貸館利用や施設の稼働率増加については、中庭の賑わい創出と連動した取組等も行ったが、引き続き周知及び改善策の検討が必要である。 ・ECサイトについては、店舗運営を優先しているため現状維持程度に留まっていることから、売上増に向けた戦略的な改善が必要である。

4 収支状況(指定管理者)

(単位：円)

(税抜き表示)

	項目	当初計画	実績 (ア)	前年度実績 (イ)	(%) (ア) / (イ)
収 入	・ 指定管理料	13,637,000	13,636,365	13,636,365	100.0%
	・ 事業継続支援金	0	0	0	0.0%
	・ 使用料 (or 利用料)	55,000	24,718	27,918	88.5%
	・ 事業収入	118,248,000	137,290,617	116,304,096	118.0%
	・ 自主事業収入	53,587,000	65,045,249	103,123,811	63.1%
	・ 自主事業補助金収入	5,000,000	5,000,000	5,000,000	100.0%
	収入計 (A)	190,527,000	220,996,949	238,092,190	92.8%
支 出	・ 仕入原価	81,701,000	98,027,596	78,428,332	125.0%
	・ 外注費	21,200,000	24,326,187	76,385,963	31.8%
	・ 原材料費	535,000	665,740	501,382	132.8%
	・ 給料手当	34,828,000	30,367,801	28,778,441	105.5%
	・ 臨時雇用賃金	1,459,000	3,229,061	2,898,946	111.4%
	・ 退職給付	720,000	2,161,638	528,000	409.4%
	・ 福利厚生費	5,301,000	5,317,518	4,576,184	116.2%
	・ 会議費	169,000	47,423	6,272	756.1%
	・ 旅費交通費	636,000	421,427	158,665	265.6%
	・ 通信運搬費	1,886,000	1,751,397	1,895,702	92.4%
	・ 消耗什器備品費	1,527,000	1,440,000	405,545	355.1%
	・ 消耗品費	1,948,000	2,265,647	1,885,220	120.2%
	・ 修繕費	1,819,000	891,100	809,173	110.1%
	・ 印刷製本費	628,000	506,991	259,207	195.6%
	・ 燃料費	2,830,000	2,481,671	2,736,842	90.7%
	・ 光熱水費	3,090,000	5,471,225	3,242,860	168.7%
	・ 賃借料	3,848,000	3,857,563	3,976,040	97.0%
	・ 保険料	923,000	808,835	777,831	104.0%
	・ 租税公課	181,000	8,183,550	716,300	1142.5%
	・ 振興費	216,000	341,247	94,854	359.8%
	・ 負担金支出	1,719,000	1,482,115	344,169	430.6%
	・ 諸謝金	284,000	104,590	107,046	97.7%
	・ 委託費	10,756,000	9,749,692	12,408,227	78.6%
・ 支払手数料	1,248,000	1,393,501	902,204	154.5%	
・ 支払利息	96,000	0	53,506	皆減	
・ 広報費	752,000	1,309,097	1,184,122	110.6%	
・ 雑費	92,000	27,054	20,339	133.0%	
支出計 (B)	180,392,000	206,629,666	224,081,372	92.2%	
	収支 (A) - (B)	10,135,000	14,367,283	14,010,818	

5 財務状況を示す指標（指定管理者）

指 標	当年度	前年度
自己資本比率（資本/資産×100）	60.4%	48.0%
負債比率（（流動負債+固定負債）/資本×100）	65.7%	108.5%
固定比率（固定資産/資本×100）	54.7%	69.2%
流動比率（流動資産/流動負債×100）	168.5%	128.4%
総資産経常比率（経常利益/総資産×100）	11.2%	15.2%

6 職員の配置状況（指定管理者）

当初配置計画	配置実績
事務局長（統括責任者）1名、課長（店長）1名、係長2名（副店長1名、総務・会計1名）、パート4名、アルバイト2名	事務局長（統括責任者）1名、課長（店長）1名、係長2名（副店長1名、総務・会計1名）、パート4名、アルバイト2名 ※係長1名（副店長）が令和5年3月に退職

7 自主事業の状況（指定管理者）

当初計画	実 績
<p>【補助金等事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（一社）長野県観光機構指導の下、経営改善に取り組み、店舗マネジメントを中心に、職員の育成などを実施する。 ・大規模展示会に産地が主体となり出展することから、木曾漆器をPRするために、事務作業等の人的協力を行う。 ・木曾漆器工業協同組合の計画した「伝統的工芸品産業支援補助事業」の振興計画について、実施協力をする。 	<p>【補助金等事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（一社）長野県観光機構指導の下、経営改善に取り組み、店舗マネジメントを中心に分科会を設ける等都度協議を重ね、職員育成を図った。特に後半はMD計画の作成手法と仕組みを学習した。 ・産地の大規模展示会出展を支援し、連携しながら販路開拓・漆器振興に尽力した。 ・木曾漆器工業協同組合の計画した「伝統的工芸品産業支援補助事業」の実施にあたり、連携・協力を行った。
<p>【PR・イベント事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS等の情報発信を行う。 ・イベント等は有効性等を見極めた上で参加する。 ・施設の広告宣伝や、地域内への誘客を図るように努める。 	<p>【PR・イベント事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS等の情報発信を積極的に実施した。 ・「みちのえきマルシェ」と題し、キッチンカーの出店や塩尻市考える農業学習塾等による販売を実施することで賑わい創出を図り、集客につなげた。 ・施設の広告宣伝や、地域内への誘客を図るように努めた。
<p>【文化財修復等事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木曾漆器の技術を活かし、文化財等の修復業務を受注する。新日本様式100選に選定された「文化財保存修復の地場産業化プロジェクト」は、木曾漆器における後継者育成、技術伝承、需要拡大を図る。 ・伊那市の寺院の納骨棚の制作を継続し、令和4年度に完工する予定である。 	<p>【文化財修復等事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木曾漆器の技術を活かし、文化財等の修復業務を受注した。新日本様式100選に選定された「文化財保存修復の地場産業化プロジェクト」は、木曾漆器における後継者育成、技術伝承、需要拡大につながった。 ・伊那市の寺院の納骨棚の制作及び松本市有形民俗文化財「初市の宝船」の修理工事に伴う漆塗を行い、それぞれ完工した。

8 評価（指定管理者、施設担当課）

評価点は5段階としており、仕様書・事業計画等に対する達成度から判断します。

例えば、計画どおりの達成度であれば評価点は「3」となります。

評価項目の性質で、付けることができる評価点が制限されている項目があります。

評価点	達成度
5	: 120 % 以上
4	: 101 ~ 119 %
3	: 81 ~ 100 %
2	: 61 ~ 80 %
1	: 0 ~ 60 %

(1) 実施体制に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
施設運営状況	1	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	2	施設の目的が十分機能しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	3	施設の利用者数や稼働率は適正か	1	②	3	4	5	1	②	3	4	5
危機管理体制	4	避難経路が適切に確保されている等、利用者の安全が確保されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	5	危機管理に関するマニュアル等が整備され定期的に訓練等を行っているか	1	②	3	4	5	①	2	3	4	5
	6	事故・災害等の緊急時の連絡体制は確立されているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
職員体制	7	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	8	スタッフのシフトは適正であるか(労働基準法を遵守しているか)	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	9	事業計画書に則した教育・研修を実施したか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
記録・情報管理体制	10	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	11	協定書等で定められた事業計画書・報告書等を提出しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	12	情報公開に関する規定が整備されているか	①	-	3	-	-	①	-	3	-	-
	13	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	14	個人情報保護に関する規定が整備されているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	15	個人情報等の管理は適切か	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	16	情報漏えいを防止する仕組みや対応策が講じられているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
(1) 評価点合計 (16項目)			44					43				

(2) 収支等の評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
経理状況	17	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	1	②	3	-	-	1	②	3	-	-
	18	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	1	②	3	-	-	1	②	3	-	-
	19	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	20	利用料収入などの現金管理等が適切に実施されているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
収支状況	21	事業収支は妥当か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	22	財務状況を示す指標の異常値、大幅な変動がないか	1	2	3	④	5	1	2	③	4	5
	23	計画どおりに経費節減の取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	24	計画以外に経費節減に向けた取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
(2) 評価点合計 (8項目)			23					22				

(3) サービス等の内容や水準に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
利用者へのサービスの状況	25	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	26	言葉づかい、態度、服装等の接遇は適切か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	27	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当か	①	2	3	-	-	①	2	3	-	-
	28	利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	29	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	30	施設のホームページは効果的に運用されているか	1	2	3	④	5	1	2	③	4	5
	31	利用方法をわかりやすく説明できる仕組みができていますか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
事業の実施状況	32	事業計画書に則し、指定管理事業を実施しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	33	施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	34	各事業への参加や施設利用促進に向けた取り組みを積極的に行っているか	1	2	3	④	5	1	2	③	4	5
維持管理状況	35	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生の点検・管理を適切に行っているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	36	施設や設備の点検・管理を適切に行い、履歴を適切に整理・保管しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	37	必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	38	市と指定管理者の備品が明確に区別されており、台帳により適切に管理されているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	39	外部委託内容は事前に市の承認を受けており、委託先に協定書等を遵守させているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	40	省エネルギー、省資源等環境への配慮がされているか	1	2	3	④	5	1	2	③	4	5
	(3) 評価点合計 (16項目)			49					46			

※No.39は外部委託がある場合のみ評価する。

(評価点の総計)

評価点総計 (満点164点)	指定管理者	116点	70.7%	施設担当課	111点	67.7%
----------------	-------	------	-------	-------	------	-------

8 (総括) 評価に対する考え方 (指定管理者、施設担当課)

評価項目	評価項目No.とその評価点を付けた理由			
	No.	指定管理者	No.	施設担当課
(1) 実施体制	1 3	協定書及び仕様書に基づき、施設利用の利便性の向上及び利用者の安全確保に努めた。	2	産地で「地場産センターから案内されて訪れた」という観光客に出会い、センター職員の産地への誘導が機能していることを目の当たりにした。継続を期待する。
	2	施設の目的を果たすため、木曾漆器等品物と作り手、産地を結ぶ役割を担えるような店舗づくりを図った。	3	企画展示室・シアターの活用方法については、検討を続けながら稼働率向上に取り組んでいる。店舗や駐車場からの動線も意識した販わい創出を期待する。
	9	(一社)長野県観光機構の指導の下、経営改善に努め、また分科会を設け都度協議を行う等職員の教育・研修を図った。	5	災害時等の訓練未実施が続いている。店舗運営があり難しい面もあるが、図上訓練等、非常時に備えた何らかの取組は必要であると考えます。
(2) 収支等の評価	18	指定管理料は、協定書等に基づき適正に利用しているが、固定費の引き落とし等があることから、専用口座にできない。	18	毎年度報告しているとおり、固定費等の管理の都合上、通帳は分けられないことは承知している。
	21	令和3年度に引き続き、伊那市の寺院の納骨棚制作もあり、安定した利益が確保できた。今後は工芸館単体で黒字化できるよう、引き続き努める。	21	文化財修復事業の安定受注は困難であるため、(一社)長野県観光機構との連携で習得したノウハウを活用した木曾くらしの工芸館事業での利益確保は必須となる。
	23 24	大規模改修の際に省エネ化を図り、かつ必要な修繕も行ったことで、固定費使用料の効率化を図った。	23 24	燃料費や電気使用料の高騰の影響により固定費が増加するなか、引き続き効率化に取り組んでいただきたい。
(3) サービス等の 内容や水準	32 35 36	事業計画に基づき、施設運営などの指定管理事業を適切に行っている。	27	アンケートの未実施により、施設の満足度や利用者ニーズ等の把握ができていない。健全な施設運営のために、必ず実施いただきたい。
	37	修繕は大規模改修も併せて関係各所と協議することで、予算執行を抑えつつ、必要なものについては市と協議の上実施した。	30	ブログやお知らせはSNSと連動して定期的に更新されている。併せて、オンラインショップの情報更新や見せ方の工夫等の面でも積極的な発信を期待する。
	30	ホームページや各種SNSを活用し、工芸館の情報だけでなく、取引先を中心とした地域の情報発信にも努めた。	37	大規模改修工事において、予定箇所以外の著しい老朽箇所を指摘し、業者との調整のもと追加改修を実現できた。

9 総合評価（指定管理者、施設担当課）

指定管理者	<p>■自己評価</p> <p>・新型コロナウイルス感染予防対策を行いつつ、（一社）長野県観光機構指導の下、経営改善に取り組みながら、利用者の増加及び収益の改善に努めた。 ・令和3年度に引き続き、文化財修復等事業により増益となったことから、施設の安定的な運営が図れた。</p>
	<p>■今後の改善策（短期的に対応可能なもの）</p> <p>・観光機構の指導が令和4年度で終了したことに伴い、令和3～4年度で得たものを活かし、引き続き安定的な店舗運営に努めていく。</p>
	<p>■今後の改善策（長期的に取り組むことで課題解決を図るもの）</p> <p>・センターの意義等を再構築し、関係団体との協調など、施設の活性化による拠点整備を行う。また、本施設から、各店舗へ誘導できるハブとなるような拠点整備も併せて行っていく。</p>
	<p>施設担当課</p> <p>・令和4年度は（一社）長野県観光機構による伴走支援の最終年度と位置付け、課題解決のための分科会を設け、令和5年度以降の自走を目指しながら年間のMD計画やステークホルダーのソリューション発掘、中庭を中心とした賑わい創出等に取り組み、コロナ禍の影響の緩和と相まって来館者及び売上の増加を達成できた。 ・一方で、年度末に若手プロパー職員の退職等もあり、マンパワー不足の状態です令和5年度を迎えることとなったため、年度当初からの伴走支援によって得られたノウハウ活用や積極的な施設運営が難しい状況が想定される。利用者サービスの維持と新たな人材確保が必要となる。 ・避難訓練やアンケート調査の未実施、一部規程の未整備については、昨年の指摘事項でもあるため、改善を強く求めたい。</p>